

私達の街を美しく「統一美化デー」 地域の清掃活動五十周年

「ごみが減り、街がきれいになってきている」そんな声が聞かれるようになり、これも皆様の清掃活動等の賜物です。

自由が丘地区の清掃活動は東京オリピックの前に清掃活動を始めたことがきっかけでした。その後、住区住民会議ができた時点で、それぞれに行われていた清掃活動が統一されました。このような経緯で「統一美化デー」という名称になりました。この歴史ある地域清掃活動ですが、前身の活動から受け継がれ、五十周年を迎えるまでになりました。今年は、前夜の雨で開催が危ぶまれていましたが、7月14日当日の朝には晴れわたりの、その後暑すぎるぐらいの陽気となりました。合計641人の多数の



熊野神社と宮前小学校に分かれて開会式。青木区長、和久井碑文谷署長のご挨拶を頂き、主催者からは岡田商店街振興組理事長、木村住区住民会議会長が挨拶。

方が参加されました。昨年の二割増し以上の盛り上がりです。お陰様で怪我人もなく無事作業を終えることができました。

老若男女の参加

他の地域で清掃活動に参加された方から「この地域では初めて参加したが、子どもも多数いて、年配者まで幅広い方々が参加できる良い活動ですね」という感想も聞かれました。区長からも「老若男女という言葉が当てはまる。自由が丘の力はすごい」。

小学生、中学生、高校生の参加は約300人でした。参加者の声は、「来年も参加したい」「今日、清掃活動をやってみて、ごみは捨てずに持ち帰ろうと思った」。

駅前広場は毎週清掃しているため比較的きれいな状態です。今年も様々なごみがありました。紙屑、吸い殻、ペットボトル等の他に、空き箱、靴下、プラスチックの壊れた配管、パイプハンガー、布団のマットレスなど。どうして、このような物が道端等に捨てられてしまうのでしょうか？ 雨の翌日には、破れたビニール傘が散乱しています。去年は、包丁もありました。これらは、植木・植込みの陰、建物の隙間など目立ちにくい所に捨てられています。タバコの吸い殻は減つ



中学生も竹ぼうきで清掃

ごみ、放置物等

放置自転車・違法駐車バイクは、いつもより台数が少なかったです。最近、表通りよりも裏通りで増えています。違反広告物は週末に貼られることが多いようです。昨年度は1413枚撤去しました。駅前では、ガム取りが行われました。区の器具の他、日本チューインガム協会の最新鋭機器が登場。表面に凹凸のある路面でも約3秒できれいに取れますが、とても高価な機器です。まずは、捨てないというマナーを守りましょう。



駅前の花壇の草取り



老いも若きも一緒に活動



ガム取り新兵器登場

あそびもにじゅうまる



いつもでもきれいな街へ不思議なもので、ごみはごみを呼びます。街をきれいに保つことにより、ごみやガムを捨てにくくなる、違反広告物を貼りにくくなる、自転車を放置しにくくなるなどの効果があります。そして、きれいな街は、犯罪も少なくなるのが統計上明らかになっています。今年の重点テーマを引き継ぎ、これからもきれいな街・安全な街を保つために、以下三点お願いします。

- ① 家・商店・駐車場前の道路の上をいつまでもきれいな状態に保ちましょう。
- ② 道路に置いた段差解消の傾斜板の下も時々掃除しましょう。
- ③ 近くに貼られた違反広告物もついでに撤去しましょう。

日常定期的な掃除などについて、ご協力のほど、宜しくお願いします。環境整備委員会

定期的な点検整備を行い、なおかつ二重三重の安全対策が施されていることを学びました。バス移動の途中、ゲートブリッジを通り、交通渋滞の解消による排気ガス削減を目指して作られたそうです。環境整備委員会

いつまでもきれいな街へ不思議なもので、ごみはごみを呼びます。街をきれいに保つことにより、ごみやガムを捨てにくくなる、違反広告物を貼りにくくなる、自転車を放置しにくくなるなどの効果があります。そして、きれいな街は、犯罪も少なくなるのが統計上明らかになっています。今年の重点テーマを引き継ぎ、これからもきれいな街・安全な街を保つために、以下三点お願いします。

- ① 家・商店・駐車場前の道路の上をいつまでもきれいな状態に保ちましょう。
- ② 道路に置いた段差解消の傾斜板の下も時々掃除しましょう。
- ③ 近くに貼られた違反広告物もついでに撤去しましょう。

日常定期的な掃除などについて、ご協力のほど、宜しくお願いします。環境整備委員会

定期的な点検整備を行い、なおかつ二重三重の安全対策が施されていることを学びました。バス移動の途中、ゲートブリッジを通り、交通渋滞の解消による排気ガス削減を目指して作られたそうです。環境整備委員会

8月1日の環境施設見学会のテーマは、「エネルギー」(ガスの科学館)、「放射能」(都立第五福竜丸展示館)、「高度な信頼性」(日本航空機体整備工場)です。44人参加。

暮らしを支える身近なエネルギー・ガスの役割や特長について、分かりやすく説明されて、子どもから大人まで楽しく学びました。ガスでも冷房や発電ができます。クイズを解いたり、実験と一緒に体験したりして楽しく過ごしました。

1954年3月に南太平洋で行われたアメリカの水爆実験によって、856隻もの漁船が被ばくしました。第五福竜丸もその内の一隻です。当時、捕獲されたマグロから高濃度の放射線が検出され、次々と廃棄されました。乗組員の方々は、直接灰を浴び、様々な病気に苦しみました。広島、長崎に次ぐ3回目の被ばくでした。展示館には船体とエンジンが保存されています。地味な展示館ですが、貴重な記録が残っています。

定期的な点検整備を行い、なおかつ二重三重の安全対策が施されていることを学びました。バス移動の途中、ゲートブリッジを通り、交通渋滞の解消による排気ガス削減を目指して作られたそうです。環境整備委員会



ガスの科学館入口にある気球



保存されている第五福竜丸の船体



機体整備工場見学

環境施設見学会 エネルギー・放射能・高度な信頼性

日本航空機体整備工場

初めに、飛行機はなぜ飛ぶのか、飛行機の断面はなぜ丸いのか、機体はどのような金属でできているのかなど説明を受けました。子ども達はパイロットの制服を着て大喜び。その後、機体整備工場に入りました。約400万個の部品で作られている巨大な飛行機、その大きさにまぎれずびっくり。歩いて近づきジェットエンジンの大きさにもびっくり。

今年も行つて来ました 高遠キャンプ!

青少年住区委員会

7月28～30日の日程で国立信州高遠青少年自然の家に行つて来ました。今年はお天気にも恵まれ全てのプログラムを遂行できました。今年の特徴はテント泊体験です。1日目の就寝準備後にテ



野炊風景、頑張りました



みんなで作ったカレーの味は格別

ントに移動して宿泊し、翌朝食前に宿泊棟に戻るという内容です。屋外の中でテント泊の体験が出来たことは良い経験になったことと思います。例年の野外炊飯・オリエンテーリング・キャン

何でも聞ける、何でも話せる

高齢者懇談会

地域活動委員会



絵紙作りチャレンジ



会の後半は「本音トーク」

「七夕の日、共にくつろいだひと時を過ごしましょう」と呼びかけ、シニアボランティアの山田滋子さんと嵯峨実枝子さんの協力を得て、7月7日、緑が丘文化会館で第5回高齢者懇談会を開催しました。前半は水彩画の先生のご指導で、夏向きの絵のお手本を見ながらの絵手

紙作りにあてました。皆しばらくぶりに絵筆を持った人たちで、絵具の使い方も忘れていました。できあがった作品を見せ合つてそれぞれの思いを一言。後半は、参加者の話し合いです。今回は本音を出し合う機会を作ろうと企画されたもので、それになつた意見が多数出

で頂けた事と思います。役員・スタッフ・各校りも体験しました。もうひとつ、例年に比べて子どもの自由時間を増やしました。決まっている時間以外をどう過ごすか。過ごし方を自分で、仲間とも考え行動する。これも住区キャンプならではの思いです。施設内で見つけたミヤ



ミヤマクワガタに大興奮

オニヤンマ等、都会では味わえない自然の空気を子ども・ご家族で楽しんでください。副委員長・キャンプ担当 加藤 功



うどん作りも大成功です

歩こう会 緑あふれる 神田川沿い散策と 都電荒川線の旅

都電荒川線の旅

6月17日、曇り空の下14人の参加者で自由が丘駅を9時に出発。緑あふれる江戸川公園を歩き、椿山荘の庭を散策し、関口芭蕉庵（松尾芭蕉が神田上水の改修工事の監督として働いていた時、居住したといわれている）の庭を散策。この庭のあちこちには芭蕉の石碑が設置されていました。芭蕉庵から少し進むと新江



思わず童心に帰った小さな旅

戸川公園へ。紫陽花の季節にあたり、それぞれ色が異なる花を観賞し、都電の早稲田駅まで歩き、荒川線に乗り、童心に帰つて、小さな旅を楽しみました。

普通救命講習会

7月21日に、緑が丘文化会館において普通救命講習会を実施しました。当日参加も含め、定員を超す23人。参加者の年齢層も、小学校高学年生から高齢者まで幅広く、ご夫婦での参加も数組あり、バラエティーに富んでいました。



心肺蘇生法の実習に真剣そのもの

に、熱心に取り組まれていました。来年も企画予定です。是非ご参加下さい。防災住区委員会 普門 正一

自転車安全教室

梅雨の合間の6月23日、宮前小学校の校庭で、青少年住区委員会主催「自転車安全教室」が開催されました。本年度は初の土曜日の開催。時間に余裕があり、丁寧な点検・指導を受けることができました。錆び付いている所等の指摘も受け日頃の手入れ不足も注意されました。また、ギアの切り替えのタイミングの悪さを一目で見抜かれ自転車の乗り方講習もありました。体験走行



安全な自転車の乗り方を学びました

では、子ども達はやや緊張気味の様子でしたが、普段、自転車で走ることができない校庭を嬉しそうに、そして、真剣に安全運転指導を受けていました。副校長先生の開会の話で「自転車に乗って安全に過ごせることが、大人の私たちの願いです。みんなが安全に気をつけて自転車に乗ることが今日来てくれた人たちへのお礼です」とありました。自転車の乗り方には十分に気を付け、安全運転を心掛けて欲しいものです。

編集後記

昨年11月より住区住民会議の環境整備委員会に入らせて頂き、五十周年美化デー、環境施設見学会、道路側溝面の放射線量の測定等を手伝ってき

ました。また、広報委員も担当し今回初めてその編集にも参加ができました。世の中、想定以上にパソコン時代で、原稿を始め写真等も全てパソコンを駆使してのデジタル処理となつており、大きな戸惑いを感じていました。私の目標は、「読みやすい紙面作り」と考えており、それに向けて努力してまいります。 松岡常成

自由が丘女神まつりの協賛

「さろん de じゅうく」

10月7日(日)～8日(月)

自由が丘住区センター内

☆住区住民会議の紹介

☆利用活動団体展示☆喫茶コーナー

☆地域交流事業実行委員会

第36回おまつり広場・みやまえ

10月14日(日) 10～15時

宮前小学校 校庭および体育館

☆模擬店☆青果販売☆苗木・花苗配布

☆発表会☆ちびっこパーク

☆古本コーナー

おまつり広場・みやまえ実行委員会

防災訓練のお知らせ

日時 11月25日(日) 9時半～12時半

会場 緑ヶ丘小学校

内容 初期消火/起震車体験、煙体験、給水/簡易トイレ組

み立て体験、心肺蘇生/AED取り

扱い訓練、防災倉庫見学 等

本年度は、緑ヶ丘小学校の児童・PTAの参加により、500人以上の大規模な訓練となります。

皆様お誘い合わせの上、奮つてご参加下さい。

防災住区委員会

木曜工作ランド

9月 敬老の日グッズ

10月 プラバン

11月 おたのしみフルーツ

12月 ハロウィングッズ

1月 ラップ芯でヘリコプター

2月 おたのしみ

3月 マーブルリング

4月 びっくり缶

5月 スライム

6月 クリスマスグッズ

7月 クリスマス

8月 キャンドル

9月 おばあちゃん、おじいちゃんとお遊ぼう

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘 1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718)1195
メールアドレス
jiyugaoka19@bz03.plala.or.jp